

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

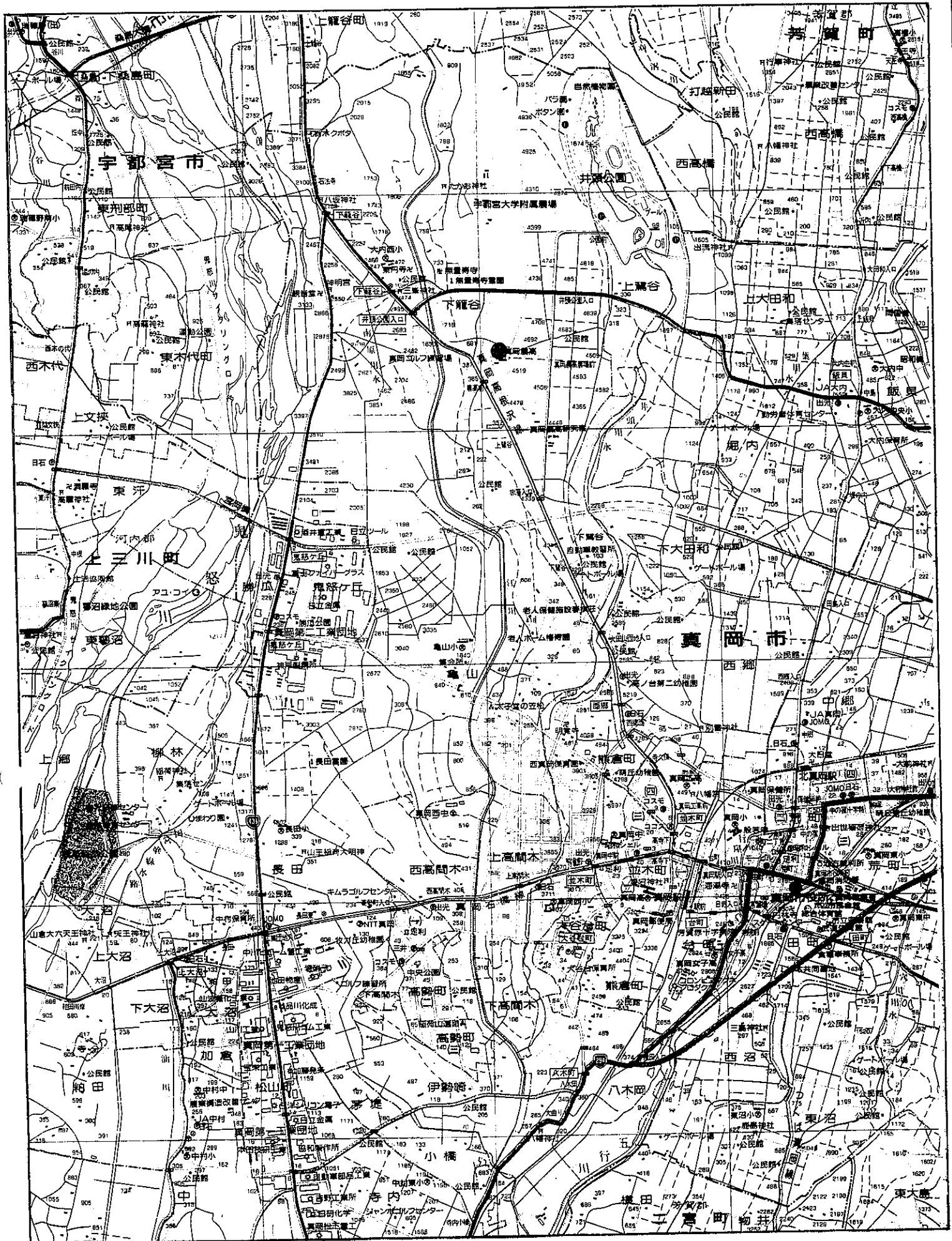
地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

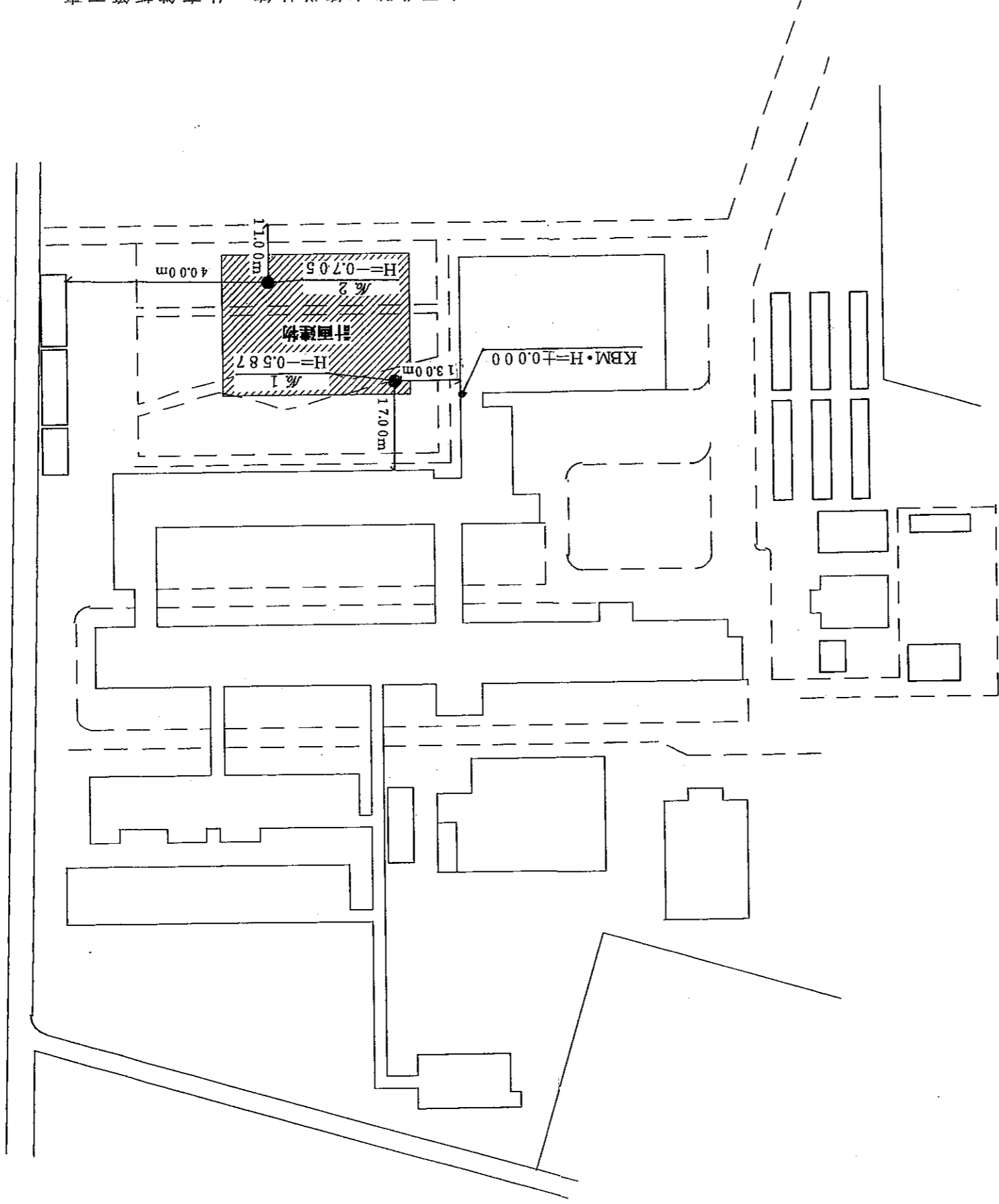
したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

案内図

●.....調査地





土質柱状図

報告用紙

真岡北陵高等学校第二体育館
新築工事地質調査

標

高

-0.587

m

調査年月日 8 年11月29日 ~ 年2月2日

ボーリング孔：No

1

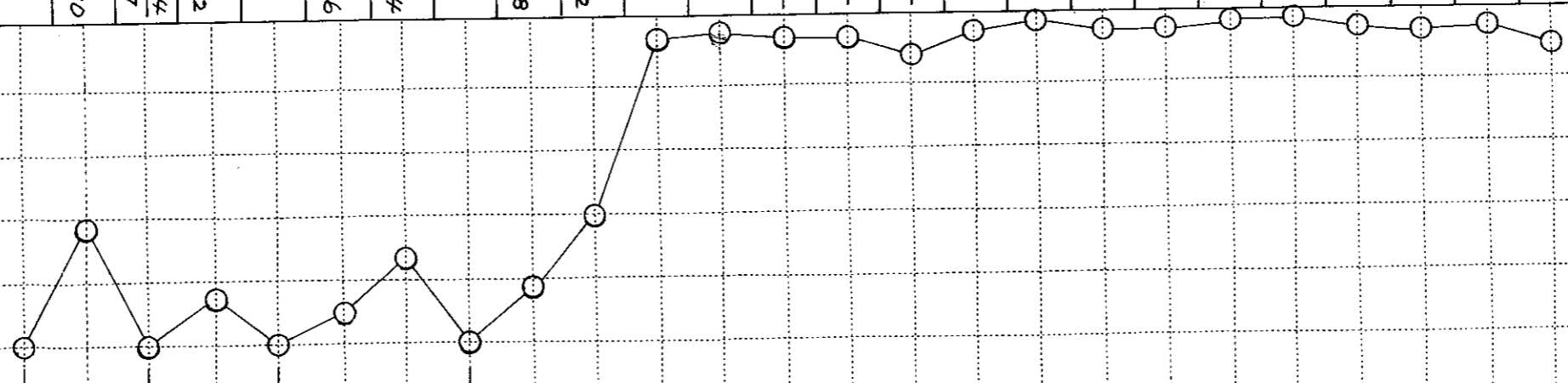
孔内水位

未確認

m

調査担当者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	土質記号	現場土質名	色調	記録事項	標準貫入試験				試料採取 深さ m	採取方法	
								深さ m	打撃 回 量 cm	10cm 打撃 回数 cm	20cm 打撃 回数 cm			30cm 打撃 回数 cm
1	1.18	0.60	0.60	△△△△	表土	褐	腐植物少量混入。風化ローム主体	1.15	5	1	2	2		
2	2.48	1.90	1.30	△△△△	ロム	茶	腐植物少量混入。ローム少量散在。下部軽石混在。コリヤ混入。含水量(%) 腐泥混入	1.48	33	1	1/3			
3	3.38	2.80	0.90	△△△△	軽石	黄	腐植物少量混入。鉄分点在。9L-400~500mm付近若干含水量多い。	2.15	2	1/6	1/5			
4				△△△△		灰		9L-600mm付近満室穴コリヤ混入。	2.44	31	1/6	1/5		
5				△△△△		灰		9L-800~900mm付近粘性強い。	3.15	3	1/5	2/5		
6				△△△△		灰		下部シルト性帯がある。	3.44	30	1/5	1/5		
7				△△△△		灰			3.54	39	1/25	1/14		
8				△△△△		灰			4.15	2	1/34			
9				△△△△		灰			4.49	1	1/34			
10				△△△△		灰			5.15	34	1/34			
11				△△△△		灰			5.44	1	1/34			
12				△△△△		灰			6.15	30	1/30			
13				△△△△		灰			6.44	1	1/30			
14				△△△△		灰			7.15	2	1/20	1/15		
15				△△△△		灰			7.44	35	1/20	1/15		
16				△△△△		灰			8.15	2	1/28	1/14		
17				△△△△		灰			8.57	42	1/28	1/14		
18				△△△△		灰			9.15	1	1/38			
19				△△△△		灰			9.53	38	1/38			
20				△△△△		灰			10.15	2	1/38	1/8		
21				△△△△		灰			10.44	30	1/22	1/12		
22				△△△△		灰			10.75	6	1/22	2/15	1/3	
23				△△△△		灰			11.15	30	1/15	3/12	1/7	
24				△△△△		灰			11.44	3	1/15	1/12	1/6	
25				△△△△		灰			12.15	34	1/15	1/12	1/7	
26				△△△△		灰			12.49	3	1/15	1/12	1/7	
27				△△△△		灰			13.15	33	1/15	1/12	1/6	
28				△△△△		灰			13.48	2	1/15	1/12	1/6	
29				△△△△		灰			14.15	32	1/20	1/12		
30				△△△△		灰			14.47	3	1/20	1/12		
31				△△△△		灰			15.15	3	1/30			
32				△△△△		灰			15.44	30	1/30			
33				△△△△		灰			16.15	30	1/30			
34				△△△△		灰			16.44	30	1/30			
35				△△△△		灰			17.15	41	1/10	1/13	1/18	
36				△△△△		灰			17.44	30	1/10	36/8		
37				△△△△		灰			18.15	50	1/14	36/8		
38				△△△△		灰			18.33	18	1/14	36/8		
39				△△△△		灰			19.15	37	1/11	1/12	1/14	
40				△△△△		灰			19.44	30	1/11	1/12	1/14	
41				△△△△		灰			20.15	45	1/11	1/18	1/16	
42				△△△△		灰			20.44	30	1/11	1/18	1/16	
43				△△△△		灰			21.15	50	1/14	36		
44				△△△△		灰			21.44	20	1/14	36		
45				△△△△		灰			22.15	42	1/15	15	12	14
46				△△△△		灰			22.44	30	1/15	15	12	14
47				△△△△		灰			23.15	50	1/12	24	7	10
48				△△△△		灰			23.44	27	1/12	24	7	10
49				△△△△		灰			24.15	31	1/10	11	10	
50				△△△△		灰			24.44	30	1/10	11	10	
51				△△△△		灰			25.15	50	1/10	11	10	
52				△△△△		灰			25.44	18	1/20	8		



備考：
 ● デモソノ型ソノアラ
 ⊕ フォイルソノアラ
 ○ 貫入試験用ソノアラ
 × その他

試料採取方法の記号

土質柱状図

報告用紙

真岡北陵高等学校第二体育館 新築工事地質調査
 調査名・調査地点: 真岡北陵高等学校第二体育館 新築工事地質調査
 標高: 0.705 m
 調査年月日: 8年11月28日 ~ 年11月30日
 調査担当者: 未確認

ボーリング孔: 6 2 孔内水位

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	土質記号	現場土質名	観察色調	記録事項	標準貫入試験				試料採取 深さ m 採取方法	
								深さ m	打撃回数 10cm	打撃回数 20cm	打撃回数 30cm		
1	1.20	0.50	0.50	△△△△	表土	褐	腐植物・有機物混入 風化ローム	1.15	3	1/11	1/11	1/1	
2	2.55	1.85	1.35	△△△△	土	茶	腐植物少量混入 下部軽石混入	1.47	32	1/11	1/11	1/1	
3	3.50	2.80	0.95	△△△△	整石	黄橙	粒径約1cm前後 スクリヤ混入、含水(H) 泥混入	2.57	42	1/22	1/20	1/17	
4				△△△△	石	茶	折々ゴツゴツ状に 浮石多量混入	3.48	2	1/20	1/13		
5				△△△△		灰	9L-600m付近に スクリヤ混入	4.15	3	1/12	1/13		
6				△△△△		灰	9L-800m付近に 若干シルト性帯あり	4.47	32	1/12	1/17		
7				△△△△		灰	下部若干粘土性強 軽石混入	5.15	2	1/22	1/17		
8				△△△△		灰	9L-800m付近に スクリヤ混入	5.54	39	1/22	1/17		
9				△△△△		灰	9L-600m付近に スクリヤ混入	6.15	1	1/35			
10				△△△△		灰	9L-800m付近に スクリヤ混入	7.15	3	1/36	1/36	1/8	
11	11.80	11.10	8.30	△△△△	石	黄	全体に含水多量軟質 スクリヤ混入 真岡軽石	7.47	32	1/13	2/13	1/6	
12	12.80	12.10	1.00	△△△△	軽	灰	スクリヤ混入 浮石点在 鉄分散在	12.15	1	1/30			
13				△△△△		灰	9L-1300~1400m 漏水激しい 火山性強	13.15	2	1/25	1/15		
14				△△△△		灰	9L-1300~1400m 漏水激しい 火山性強	13.55	40	1/25	1/15		
15				△△△△		灰	9L-1300~1400m 漏水激しい 火山性強	14.15	2	1/21	1/16		
16	16.35	15.65	3.55	△△△△	凝灰質ローム	暗茶	最大径約180%前後 約5~45%程度 角、垂直レキ主体 レキは一部風化し もろい	15.15	3	1/14	1/11	1/8	
17				△△△△		灰	9L-1950~1985m 粘土未採 浮石多量散在 汁々礫層状に 粘土質砂採む	16.15	27	1/14	1/11	1/8	
18				△△△△		灰	9L-1950~1985m 粘土未採 浮石多量散在 汁々礫層状に 粘土質砂採む	17.15	37	1/10	1/14	1/13	
19				△△△△		灰	9L-1950~1985m 粘土未採 浮石多量散在 汁々礫層状に 粘土質砂採む	17.45	30	1/10	1/14	1/13	
20				△△△△		灰	9L-1950~1985m 粘土未採 浮石多量散在 汁々礫層状に 粘土質砂採む	18.15	50	1/50			
21				△△△△		灰	9L-1950~1985m 粘土未採 浮石多量散在 汁々礫層状に 粘土質砂採む	18.22	7	1/7			
22				△△△△		灰	9L-1950~1985m 粘土未採 浮石多量散在 汁々礫層状に 粘土質砂採む	19.15	26	1/10	9	7	
23				△△△△		灰	9L-1950~1985m 粘土未採 浮石多量散在 汁々礫層状に 粘土質砂採む	19.45	30	1/10	9	7	
24				△△△△		灰	9L-1950~1985m 粘土未採 浮石多量散在 汁々礫層状に 粘土質砂採む	20.15	50	1/20	20	4	
25	26.15	25.45	9.80	△△△△	粘土混り 砂	暗黄	9L-2485m付近より 漏水著しい シリカ又は少量の 砂分及び粘土性土層 全体に自溶性良好	20.15	14	1/30	1/4		
26				△△△△		灰	9L-2485m付近より 漏水著しい シリカ又は少量の 砂分及び粘土性土層 全体に自溶性良好	20.29	14	1/30	1/4		
27				△△△△		灰	9L-2485m付近より 漏水著しい シリカ又は少量の 砂分及び粘土性土層 全体に自溶性良好	21.15	50	1/15	1/18	1/17	
28				△△△△		灰	9L-2485m付近より 漏水著しい シリカ又は少量の 砂分及び粘土性土層 全体に自溶性良好	21.39	34	1/16	22	4	
29				△△△△		灰	9L-2485m付近より 漏水著しい シリカ又は少量の 砂分及び粘土性土層 全体に自溶性良好	22.15	34	1/16	22	4	
30				△△△△		灰	9L-2485m付近より 漏水著しい シリカ又は少量の 砂分及び粘土性土層 全体に自溶性良好	22.45	30	1/16	22	4	
				△△△△		灰	9L-2485m付近より 漏水著しい シリカ又は少量の 砂分及び粘土性土層 全体に自溶性良好	23.15	50	1/15	1/18	1/14	
				△△△△		灰	9L-2485m付近より 漏水著しい シリカ又は少量の 砂分及び粘土性土層 全体に自溶性良好	23.39	24	1/15	1/18	1/14	
				△△△△		灰	9L-2485m付近より 漏水著しい シリカ又は少量の 砂分及び粘土性土層 全体に自溶性良好	24.15	26	1/15	1/18	1/14	
				△△△△		灰	9L-2485m付近より 漏水著しい シリカ又は少量の 砂分及び粘土性土層 全体に自溶性良好	24.45	30	1/15	1/18	1/14	
				△△△△		灰	9L-2485m付近より 漏水著しい シリカ又は少量の 砂分及び粘土性土層 全体に自溶性良好	25.15	23	1/15	1/18	1/14	
				△△△△		灰	9L-2485m付近より 漏水著しい シリカ又は少量の 砂分及び粘土性土層 全体に自溶性良好	25.45	30	1/15	1/18	1/14	

備考: 試験採取方法の記号
 ● デニソン型サンゾラ
 ⊕ フォイトルサンゾラ
 ○ 貫入試験用サンゾラ
 × その他